

マイコプラズマ肺炎が流行しています！

マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若年層を中心に全年齢で1年を通して報告があり、秋冬に増加する傾向にあります。

<症状>

潜伏期間は2～3週間です。発熱、全身倦怠感、頭痛、咳等の症状がみられ、3～4週間程度続くのが特徴です。一部の人は、肺炎となったり、重症化することがあります。

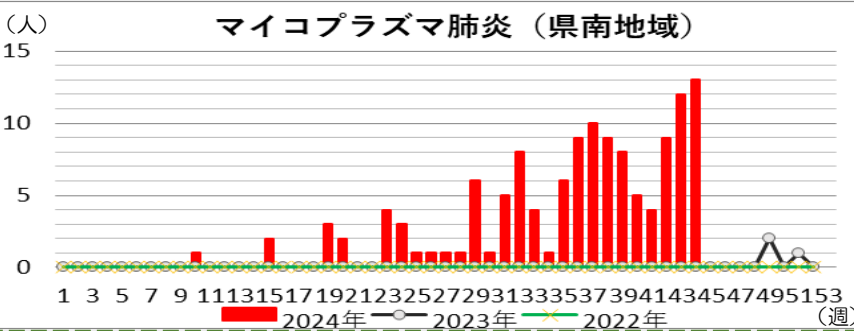
<感染経路>

- 飛沫感染
- 接触感染



福島県では、特に県南地域からの報告数が多いです

マイコプラズマ肺炎の報告数は、2024年23週（6/3～9）あたりから全国的に急増しています。43週（10/21～27）、定点医療機関あたりの報告数は、**全国で2.49**と過去最多を更新しました。福島県では**3.29**、**県南地域では12.0**と、全国値を上回っています。



福島県の報告数の多くを県南地域が占めており、感染の流行が目立っています。

マスクの着用や換気、石けんによる手洗いやアルコールによる手指消毒等、基本的な感染症対策が大切です。

福島県感染症発生動向調査報告▶



基本的な感染対策

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗いします。
- 手首も忘れずに洗います。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやるう

マスクがない時
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

何もしずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみを手でかさえる

医療従事者の方へ

「マイコプラズマ感染症（マイコプラズマ肺炎）の急増にあたり、その対策について」の提言が出され、医療者向けの留意点が示されました。内容についてご確認ください。
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001320926.pdf>



FAX

MAIL

発行元：福島県県南保健所 生活衛生部 医療薬事課 0248-23-1252 kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAX及びメールでお願いします。

県南保健福祉事務所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>